特集２

令和６年度　予算のあらまし

▼　令和６年度の当初予算について

今年度の当初予算は、市長選挙が２月に行われたため、骨格予算として編成しました。

骨格予算とは、選挙などにより政策的な判断が難しいといった理由で、継続的な事業を中心に編成する予算のことです。

骨格予算としながらも、市民の暮らしの応援や安全安心に関する事業、喫緊の課題解決に確実に対応する事業などについては、新たな事業に必要な経費も計上しています。

さらなる新たな事業に必要な予算については、今後、補正予算（肉付け予算）として議会に提案する予定です。

▼　令和６年度の主な事業

重点施策１　超高齢社会への適応

●官民連携介護予防「ずっと元気！プロジェクト」　１億1,582万円

急速な高齢化に伴う介護リスクの上昇に対応するため、引き続き民間の知見を活用した高齢者に対する介護予防事業を実施します。

「ずっと元気！プロジェクト」の様子

●加齢性難聴などへの補聴器購入助成　新規　525万円

障がいのある人に加え、聴力の低下で日常生活に支障がある人の補聴器購入に対する助成制度を新設します。

●認知症伴走型支援事業　拡充　155万円

認知症の人の家族が日常生活において抱える困り事に対して、専門職が助言などを行う窓口を新たに設置します。

●介護人材確保の推進　拡充　1,991万円

介護サービス事業所に対して、職員のスキルアップや職場環境向上の支援、介護人材定着を図るためのコーディネーター派遣をします。また、介護人材確保のため、多様な担い手の創出を推進します。

担い手創出を目的とする
「介護の仕事相談会」の様子

詳細はこちら
市ホームページ

＜問合せ＞財政課（☎34・6614、FAX32・9479、✉zaisei@city.toyota.aichi.jp）

重点施策２　「ひと」と「しごと」が集まるミライへの投資

●こども園・幼稚園から中学校までの給食費無償化 新規　19億7,055万円

※予算額は、無償化に伴う歳入の減少額

●小中学校体育館などの空調設備の整備 新規　39億2,045万円※（債務負担行為 25億5,388万円）

全小中学校の体育館・武道場に空調設備を整備します。

豊田市の給食

●高校生世代までの医療費無償化 拡充　26億2,229万円

通院の医療費助成の対象を高校生世代まで拡大します。また、大学生などの入院費の無償化を引き続き実施します。

●名鉄豊田市駅駅舎の整備 新規　1億9,030万円※（債務負担行為 59億5,000万円）

名鉄豊田市駅の耐震化を実施し、北改札口を整備します。

●FIA世界ラリー選手権「ラリージャパン2024」の開催　5億円

昨年度に引き続き、世界三大モータースポーツの一つで、公道最速の世界王者を決める世界ラリー選手権を開催します。開催期間は、11月21日（木）～24日（日）です。

※債務負担行為…将来的には支払う見込みがあるが、今年度中には支払う予定がない費用のこと

重点施策３　まちの課題解決力の強化

●SDGsの達成に向けた取組　1,889万円

SDGs（持続可能な開発目標）達成に向け、SDGsパートナーの交流促進や、SDGs認証制度の運用をします。

●都市と山村の共生推進　4,702万円

都市部の市民に本市の山村地域を知ってもらう山村ツアーの開催や、都市の企業、団体と山村地域との関係づくりを支援する「おいでん・さんそんセンター」の運営などにより、都市と山村の交流の機会を創出します。

山村地域における企業の人たちの田植え体験の様子

●粗大ごみ受付のオンライン化 新規　515万円

粗大ごみの収集受付をオンライン化し、24時間申込みができるようにします。

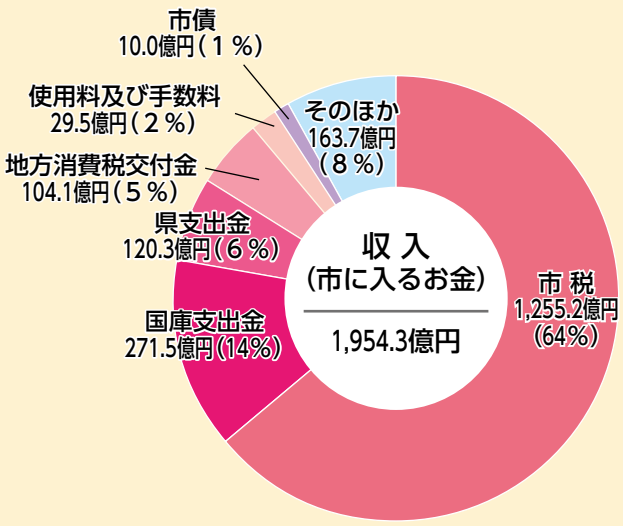
●スマート窓口の拡充 拡充　2,731万円

印鑑登録、マイナンバーカードなどの申請手続を追加し、「書かない・待たない窓口」を推進します。

▼　令和６年度当初予算

●一般会計　1,954億2,653万円　前年度比3.8パーセント増

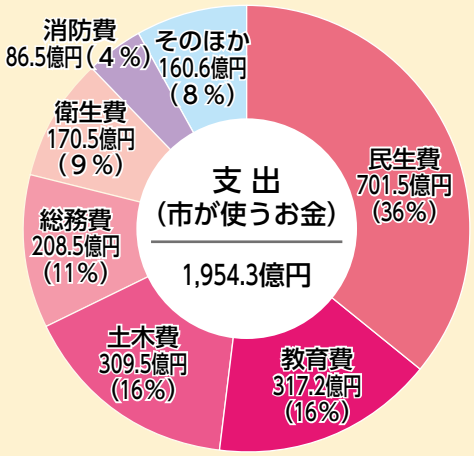
■収入



市税	市民の皆さんや事業所などが納めるお金
国庫支出金	使い道が決められている国から入るお金
県支出金	使い道が決められている県から入るお金
地方消費税交付金	地方消費税のうち県から配分されるお金
使用料及び手数料	市の施設やサービスなどを利用したときにかかるお金
市債	国や銀行などから借りるお金
そのほか	前年度からの繰越金や基金からの繰入金など

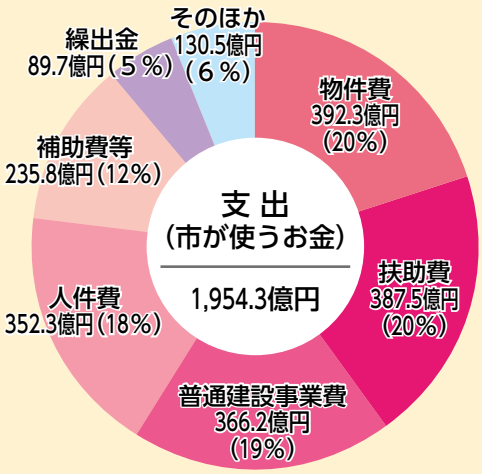
固定資産税	440.7億円（35％）
法人市民税	348.7億円（28％）
個人市民税	302.6億円（24％）
都市計画税	46.0億円（４％）
そのほか	117.2億円（９％）

■支出（目的別）



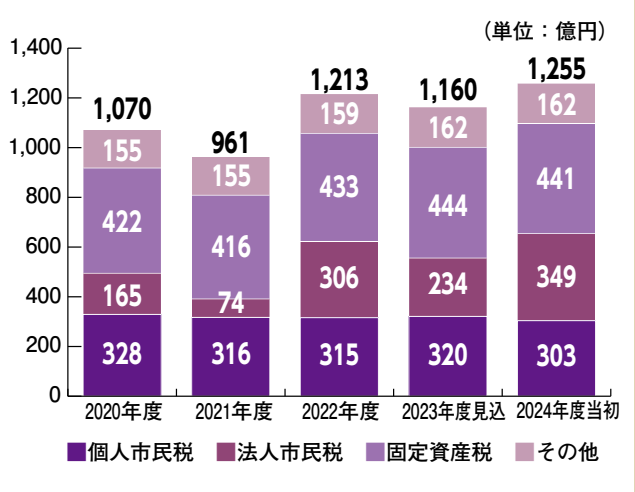
民生費	高齢者や障がいのある人、子育てなどを支えるためのお金
教育費	学校整備やスポーツ・文化などを盛んにするためのお金
土木費	道路や公園などを整備するためのお金
総務費	地域振興や庁舎管理、選挙などのお金
衛生費	病気の予防、ごみ処理や環境を守るためのお金
消防費	災害対策、被害軽減などのためのお金
そのほか	公債費や商工費、農林水産業費など

■支出（性質別）

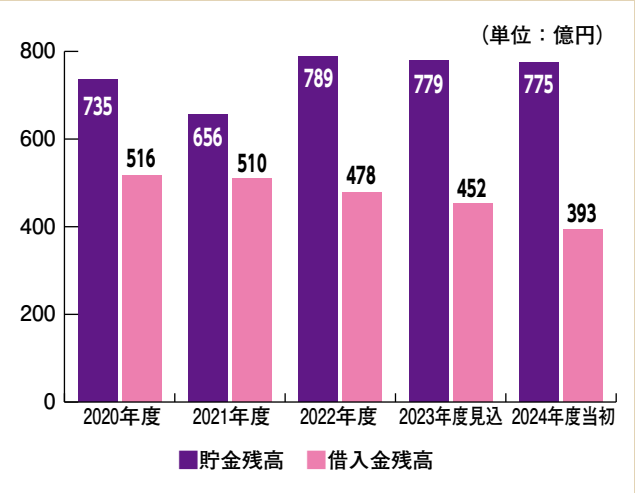


物件費	施設の維持管理費など
扶助費	児童手当・生活保護費など
普通建設事業費	道路や建物の建設費など
人件費	職員の給与など
補助費等	補助金など
繰出金	特別会計などへの補てん
そのほか	積立金・公債費など

市税の推移



貯金残高と借入金残高の推移



目的のある収入の使い道

都市計画税	**46.0億円**
区画整理	6.9億円
街路事業・公園整備	23.7億円
下水道事業への負担金・出資金	2.3億円
市債の償還（元金）	13.1億円
森林環境譲与税	**2.0億円**
森林整備	1.4億円
人材育成	0.3億円
木材利用・普及啓発	0.3億円
地方消費税交付金 社会保障財源分	**55.3億円**
療養給付費負担金	10.8億円
介護給付費繰出金	9.4億円
子ども医療助成費	6.2億円
教育・保育給付費	5.0億円
定期予防接種費	5.0億円
その他	18.9億円

将来のまちづくりへの投資　366億円

- 名鉄三河線若林駅付近連続立体交差事業
- 小中学校体育館等空間設備整備事業
- 豊田参合館長寿命化等改修負担事業　など

●特別会計　729億9,973万円　前年度比2.5パーセント増

特別会計とは、特定の事業を行う場合に、一般会計と区別して設置する会計です。その特定の収入をもって特定の支出に充てます。

国民健康保険、介護保険、土地区画整理など10会計があります。

●企業会計　353億3,035万円　前年度比3.4パーセント減

企業会計とは、独立採算制を原則とする企業経営色の強い事業の会計です。

水道事業会計と下水道事業会計の２会計があります。

総　額　3,037億5,661万円　前年度比2.6パーセント増